

前文（案）

- ① 海津市のイメージ、**地域の成り立ち**を表現する。
 - ・歴史、文化、産業、地理的な状況等を踏まえる。まちの長所や特徴を示すキーワードを含ませて海津市のイメージを出す。
 - ・**他地域からの支援（薩摩義士等）や、連携・協力により繁栄してきた地域である事を踏まえる**
 - ・**農業の変化・進展（数十年前と現在では大きく様変わりした）**

【キーワード】

 - ・自然（木曾三川、養老山脈）、観光、歴史、農業、コミュニティ
 - ・**地形的なキーワード（3町合併、扇状地など）**
 - ・**ハリヨ、湧水（地域の持つ素晴らしい財産を表現）**
- ② 条例制定の理由を表現する。
 - ・市民がめざすまちの姿として、「観光」や「農業」など**地域産業の発展や「ずっと住み続けたいまち」等のキーワードを含め**と、これからの自治の在り方（願い）を表現する。
 - ・**ネガティブワードを含み、それを解決するため・乗り越えるため条例を制定**
 - ・**社会情勢を踏まえた理由を入れる（人口減少・流出）**
- ③ 条例制定の基本的な理念を表すキーワード（市民自治、市民参加、協働、情報共有、地域尊重）を含み、これからのまちづくりの基本的な考え方を表現する。
- ④ 市民憲章を尊重する記述を含む
 - ・市民憲章は、**市民共通の行動規範**であるため、条例の宣誓文で何らかの形で表現する。
- ⑤ 理解しやすく、なめらかな文章で表現する。

その他

- ・市民憲章の5つの項目を基本とし、そこに**個性的な表現を加える**。
- ・基本原則をベースに前文を考える。
- ・ネガティブワードは何か。出た意見→**職場がない**